

緊急赤潮情報R7-2

令和7年5月30日

大分県農林水産研究指導センター
水産研究部北部水産グループ

中間育成場前および大神漁港で有害赤潮プランクトンのヘテロシグマ・アカシオが警戒密度または注意密度を超えて確認されました。

以下の点を参考にして漁業被害の未然防止に努めて下さい。

**本種の注意密度は、5,000細胞/ml、
警戒密度は、50,000細胞/mlです。**

(ヘテロシグマ・アカシオの留意点)

- ① このプランクトンは、上下移動を繰り返し、日中は表層に夜間は底層に滞留します。水色や漁模様の急変など、海域監視の強化に努めて下さい。
- ② 特に、漁港内では高密度になる恐れがあります。漁港内での蓄養等は避けて活け〆出荷等の対策を講じて下さい。
- ③ 赤潮の発生や漁模様の变化などが確認された場合は、北部水産グループ、最寄りの県振興局水産班までご連絡下さい。

表1 赤潮プランクトン検鏡結果

調査 月日	調査 場所	調査 時間	採水層 (m)	水温 (℃)	塩分 (PSU)	ヘテロシグマ・アカシオ (細胞/ml)
5月28日	中間育成場前	16:00	0	25.2	—	310,000
5月29日	中間育成場前	9:50	0	20.7	—	6,000
	大神漁港	10:10	0	20.5	—	1,200

採水・検鏡: 5/28, 大分県東部振興局農山漁村振興部水産班

5/29, 採水 大分県東部振興局農山漁村振興部水産班, 検鏡 北部水産グループ



海洋状況表示システムを加工して作成